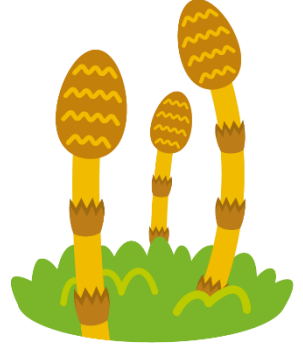


# 東海大学大学院 2019年度 家族看護研究会

家族看護学研究室では家族看護を様々な理論やツールを用いて事例分析を行っています。  
今回の講師は、

東海大学医学部看護学科 櫻井 大輔 先生です。

渡辺式家族アセスメントモデルを用いて事例分析を行います。



## 事例紹介

急性リンパ性白血病を患う10代（AYA世代）のAさん。全身状態の悪化に伴いICUで管理されていたが、死が避けられない状況にある。毎日面会に来てAさんを励まし続ける両親、入院してから一度もAさんに会えていない妹…。この家族が気になるが、どのように声をかけてよいかわからない。

プロフィール：櫻井大輔先生（家族支援専門看護師）

国際医療福祉大学卒業後、神奈川県立足柄上病院に入職。  
東海大学大学院で家族看護学専攻し、家族支援専門看護師を取得。  
2018年から東海大学医学部看護学科特任助教となり、各地で家族看護教育普及につとめている。

2019年5月18日 土曜日

13:00～16:00

場所：東海大学伊勢原キャンパス 3号館 214教室

アクセス：小田急小田原線「伊勢原駅」下車徒歩20分  
バス10分（東海大学病院下車）

問合せ先： 0463-93-1121（代表） 担当；井上

研究会ホームページ： <http://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp>

メールアドレス：kazoku@tokai-u.jp

